

## ◎ キンダリー透析剤 AF-3 号 [注]

【重要度】 【分類】 人工腎臓用透析液

【単位】 ◎9L・▼6L

【用法】 A液：B液：希釈水 = 1：1.26：32.74 の希釈・調製比率の重炭酸型透析液供給装置を用いて血液透析を行う場合の灌流液として使用する。用量は透析時間により異なるが、通常、灌流液として 150～300L を用いる。

【特徴】 本剤は Ca<sup>2+</sup> 2.5mEq/L と低濃度でブドウ糖濃度が 150mg/dL と高め、重炭酸イオンが 25mEq/L と低めのため、活性型ビタミン D3 製剤や Ca 製剤の投与などによる高カルシウム血症の場合で、次の要因を持つものに用いる。 1.炭酸水素濃度の高い炭酸水素型透析液では、過度のアルカローシスを起こすおそれのある場合、 2.糖濃度の低い透析液では、糖尿病など血糖管理が困難な患者であって、透析開始時高い血糖値（200mg/dL 程度）を示す場合、 3.K、Mg の高い透析液では、高カリウム血症、高マグネシウム血症の改善が不十分な場合。当院では個人用透析液として使用している

【備考】 Na<sup>+</sup>：140mEq/L、K<sup>+</sup>：2.0mEq/L、Ca<sup>2+</sup>：2.5mEq/L、Mg<sup>2+</sup>：1.0mEq/L、CL<sup>-</sup>：114.5mEq/L、酢酸イオン<sup>-</sup>：8mEq/L、HCO<sub>3</sub><sup>-</sup>：25mEq/L、ブドウ糖：150mg/dL

【更新日】 20160109

※正確な情報を掲載するように努力していますが、その正確性、完全性、適切性についていかなる責任も負わず、いかなる保証もいたしません。本サイトは自己の責任で閲覧・利用することとし、それらを利用した結果、直接または間接的に生じた一切の問題について、当院ではいかなる責任も負わないものとします。最新の情報については各薬剤の添付文書やインタビューフォーム等でご確認ください。

※本サイトに掲載の記事・写真などの無断転載・配信を禁じます。すべての内容は、日本国著作権法並びに国際条約により保護されています。